



2年生数理探究科アメリカ研修旅行



グラントパークスタジアムにて



館原の町並みにて



A I 時代を 生き抜くために

長崎県立大村高等学校
校長 鶴田 勝也

本校は、例年11月1日の創立記念日に同窓生を講師とした記念講演会（心に響く人生の達人セミナー）を開催しています。今年度は、東京で株式会社アイ・ティ・アールの代表取締役を務めておられます内山徳志様（本校30回生）を講師としてお招きし、「デジタル化社会の到来とその先の未来」という演題でご講演いただきました。

ご講演の中で内山様が発した「現在、世の中は第4次産業革命期にあり、A I（人工知能）などのデジタル技術によって自律化する超スマート社会になってきている。これからは人間に成り代わって多くの職業がA Iで代替できる時代となる。そういう未来社会で君たちはどう生きていくか。」という問いかけには多くの生徒たちが不安を感じたことでしょう。しかし、その後「A Iにも不得意な部分がある。例えば、A Iは文章や会話の意味を理解し、人の感情を読み取ることができないため、心の通ったコミュニケーションができない。過去のデータから論理的な指示は出せるが、信頼や感動で人を動かすことはできない。また、何かをひらめくという創造性は不得意である。これらは人間にしかできないことです。」と聞いて少し安堵したのではないかと思います。そして、最後に「①読解力を磨き②人の指示・指導を待つ前に、まず自分で考えよ③感情や

感性を大切にせよ④2つめの得意技を身に付けよ」と述べられ、A I時代を生き抜く未来を担っていく後輩たちに示唆に富んだメッセージを送っていただきました。生徒たちにとってとても心に響く有意義な講演であったと思います。

「自ら気づき考え行動する」のキャッチフレーズのもと、今年度からSSH事業に取り組んでいるのも、変化の激しい社会を生き抜くために、主体的に創造性のある人材育成をめざそうとしたものです。生徒たちにもその糧が伝わり、少しずつではありますが実を結びました。その一例として、前述の講演会における質疑応答で、まず生徒の手が数多く一斉に挙がったこと、そして、自分の考えをしっかりと述べてから質問をしたことが挙げられます。内山様も後輩の質問力の高さに大変感激されておられました。また、これ以外にも生徒による企画立案での「高校生さわやか運動」の実施、部活動での新たな活躍、各種イベントへの参加やボランティア活動など積極的に行動する生徒が増えてきています。SSH事業を機に芽生えた、このような自分たちで大高の新たな歴史を創ろうという生徒たちの頼もしい意気込みに大きな声援を贈るとともに、今まさに大高が新しい時代の到来に向け、大きく発展しつつあることの喜びを多くの方々と共に共有し、大高生の明るい未来を期待するところです。

結びに、今年も残すところあとわずかとなりましたが、来たる新しい年で、生徒諸君、先生方、保護者の皆様、大高に関わる全ての方々にとって、希望に満ちた光り輝く素晴らしい年になることを祈念して、今年最後の巻頭言いたします。

SSH 活動紹介

◆大村視てあるき (第1学年)

10月26日(金)、第1学年全生徒を対象に、「大村視てあるき」を実施しました。これは身近な自然や地域、すなわち生徒が暮らす「大村」を学びの場とし、自然や地域を科学的・多角的に捉えることを通じて、「問題に気づく力の育成」や「探究の基本を学ぶ」ためのものです。数理解探究科は、1日かけて大村の地質・自然についての講義と遠征を行いました。普通科・家政科はグループに分かれ、午前中は研究所や事業所の訪問研修、午後は各学級に戻り、自身の振り返りと、小グループに分かれ、午前中の研修報告を4コマプレゼンの形式で行い、「伝え合う力」を高める活動に取り組みました。



◆SS探究Ⅰ：連携講座 (第1学年)

11月15日(木)、第1学年全生徒を対象に「SS探究Ⅰ：連携講座」を開催しました。これは、身の回りの事象についての興味関心を高め、問題を発見する力の向上を図るとともに、探究手法の基本を身につけるために、県内外の11の外部機関と連携して実施した講義、実習・演習です。最先端の研究内容はもとより、自分達の身体や身近な食品の中に見られる「サイエンス」に触れることができ、生徒の見方や考え方は大きく変容しました。



◆SSH講演会 (第1学年)

10月16日(火)、琉球大学名誉教授 兼 サンレモリハビリ病院名誉院長の齊藤厚先生をお招きし、SSH講演会を開催しました。先生のご専門は、感染症(特にレジオネラ感染症や黄緑菌症)です。講演では、医学と医療、すなわち医学の学問に基づいて医療すなわち治療が行われることを、寄生生感染症抑制までの道のりをモデルとして、豊富な経験をお話しいただきました。

以下は生徒の振り返りからの抜粋です。「知りたいことをとことん追求する真摯さが、29年後に実を結んだのだと思いました」「疑問を持つことや仮説を立てて実証していくことの大切さを知り、自分も、日頃から多くの疑問を見つけようと思いました」



家政科 活動紹介

高齢者福祉施設実習 1年家政科

11月14日(水)2年家政科生が「子どもの発達と保育」の授業の一環として、市内8ヶ所の保育園で保育実習を行いました。笑顔で迎えてくれた子ども達と触れ合うことで、たくさんパワーをもらいました。慣れない仕事もたくさんありましたが、今まで気付かなかった保育士の仕事内容やその大変さ、また喜びを知る機会ともなり、充実した体験となりました。



保育園実習 2年家政科

10月24日(水)2年家政科は「子どもの発達と保育」の授業の一環として、市内8ヶ所の保育園で実習をおこないました。

保育士の仕事の大変さや多様な内容に驚かされたが、子ども達の笑顔に癒された、充実した1日を過ごすことができました。



小学校授業支援 3年家政科

3年家政科生が大村小学校5年1～3組の家庭科の授業支援をおこないました。

ミシンの扱い方やエプロン製作の支援をおこないました。全員が時間内にエプロンを仕上げることで満足した様子でした。また家政科3年生にとっても被服製作の基本を確認する機会となり、有意義な交流学習となりました。



郷土料理講習会 (大村寿司)

10月19日(金)～31日(水)、2年家政科及び1年数理解探究科・普通科の生徒を対象に家庭科の授業の一環として郷土料理講習会を開催しました。この講習会は、身近な食文化に目を向け、伝承していくことの大切さに気づくことを目的に毎年実施しています。

今年度も大村市食生活改善推進員の皆様にご指導をいただき、大村の郷土料理である大村寿司を減塩・減糖を意識してつくりました。



《部活動結果報告》

○県新人体育大会
ソフトテニス 団体 **優勝** (8連覇)
ボート競技 女子 **総合優勝**
男子 **総合2位**
テニス 女子 団体 **準優勝**
男子 団体 **3位**
バドミントン 男子 団体 **3位**
○全日本高等学校選抜ソフトテニス大会九州予選
第5位 (全国選抜大会出場 2年連続 7回出場)

○全国選抜大会九州地区予選
ボート競技 女子 2部門で全国選抜大会出場権獲得
○長崎県文祭 文化コンクール

「輝時賞」 **最優秀賞** (佐賀総文祭出場) 五連覇
最優秀賞 (佐賀総文祭出場)
川崎淳平 (2-7 玖島中出身)
優秀賞 山口雄大 (1-7 千歳中出身)
優秀賞 淵奈々穂 (2-3 郡中出身)

※その他の主な個人優勝者を含む結果については、学校のHPをご覧ください。

全国高等学校ラグビーフットボール大会決勝の副都立合として開催されるU18合同チーム西軍メンバーとして、部長兼生者 (西大村中出身) が「東西対抗戦」に出場いたします。



日時：2019年1月7日(月)
12時15分(30分ハーフ)
場所：東大森市花園ラグビー場
第1グラウンド

人生の達人セミナー 開校記念日講演会

11月1日(木)、ITアナリストの内山悟志様(本校昭和53年卒:㈱アイ・ティー・アール代表取締役)を講師にお招きして、開校記念日講演会(人生の達人セミナー)を開催しました。スマートフォンの普及に加えて、AIやロボット技術の進展によりデジタル革命が急速に進む中、社会や人々の生活はどのように変わっていくのか。そして、私たちがどのように人や仕事と関わっていくのか。そのた



熱弁をふるってくださった内山様

めに、今準備しておくことは何なのかという、まさに進路選択に迫られている本校の生徒にとっての大きな問題を提起する内容で、大変意義深い時間となりました。

今里廣記賞

今年の校内読書感想文コンクールで最優秀賞(今里廣記賞)を受賞したのは、3年8組 若尾聖来さんの「舟を編む」を読んだのでした。



- ◇最優秀賞 3年8組 若尾 聖来 (桜が原中出身)
(今里廣記賞) 「『舟を編む』を読んで」
- ◇優秀賞 1年4組 大浦 正仁 (郡中出身)
- 2年6組 立川 日菜 (明峰中出身)
- ◇優良賞 3年6組 田原 悠斗 (大村中出身)
- 「嘘」
- 2年4組 村山 圭佑 (玖島中出身)
- 「『今日が人生最後の日だと
思っ生きて下さい』を読んで」

数理探究科 活動紹介

研究所訪問研修 (1年)

12月7日(金)、数理探究科1年生29名は佐賀県伊万里市にある佐賀大学海洋エネルギー研究センターを訪れ、研修を行いました。

当日は、センター内の研究施設の見学と説明、海洋温度差発電の原理・応用などの講義をしていただきました。今回の研修を通じ、最先端の科学技術を知るとともに、その基本となる科学計測について多くのことを学ぶことができました。



課題研究の活動から (2年)



11月16日(金)数理探究科2年生は、課題研究の内容を英語で紹介する『英語プレゼンテーション研修会』を実施しました。外国人講師のご指導のもと、表情や話し方、また研究ポスターの内容などに多くの改善点が指摘され、12月のアメリカ研修にむけて修正を加えました。また、一部の組は、10/28「サイエンスファイト(長崎市内アーケード)」、11/10「県工業技術エンター一般公開」での出展に参加し、一般の方々へ研究成果の紹介をしました。

理科部 活動紹介

11月10日(土)に開催された第24回科学研究発表大会に、口頭発表1チーム、ポスター発表に2チームが出席し、これまでの研究成果を発表しました。3チームとも優良賞ということで、目標としていた九州大会への出場は逃しましたが、審査員の先生からは、「ポスター製作の発本となるような素晴らしい作品」という評価を頂き、自分達の成長を感じることができました。どの部員も、指摘された事項や他校の研究手法等を参考に研究を進め、研究の質を高めていきたいと強く思いました。



2年生数理探究科 アメリカ研修旅行

数理探究科2年生30名がアメリカ研修に行きました。3年前から始まったラスベガス近郊ハンダーソンにあるグリーンバレー高校との交流。今年もそこに通っている生徒宅にホームステイし、授業にも参加しました。

また、普段の授業で行っている課題研究の発表を、英語で行いました。さらに、グランドキャニオンやパレーオブファイヤーなど壮大な大地や貴重な土地に実際に足を運び、視野を広げることができました。数理探究科とグリーンバレー高校との交流は今後も続きます。



2年生修学旅行

12月4日(火)～12月7日(金)の3泊4日の旅程で、東京・福島への修学旅行に行ってきました。福島では被災された語り部の方やスパリゾートハワイアンズでの震災特の対応などをうかがい、東京では自主研修やクラス別研修などによって将来に向けて見聞を広めることができました。



東京最初の食事のため、アパレルとさん本社ビルに集まりました



初日の昼食はハイキングでした



福島の町で語り部の方から震災時のお話をうかがいました



ホテルハワイアンズでの震災講話の様子



クラス別研修の国立博物館にて



福島がアースリウムで収穫は楽しかったです



今からディズニーランドに入場します



最終研修のクラス別研修で花を販売しました